バランスシートの比較表

(平成18年度・平成17年度)

(単位:千円)

借方科目	平成18年度	平成17年度	増 減
【資産の部】			
1.有形固定資産	27,450,339	27,483,380	△ 33,041
(うち土地)	8,278,889	8,268,067	10,822
2.投資的資産	1,376,442	1,372,633	3,809
投資及び出資金、貸付金			
特定目的基金等			
退職手当組合積立金			
3.流動資産	1,854,397	1,722,328	132,069
現金・預金及び未収金			
資産合計	30,681,178	30,578,341	102,837

債務負担行為に関する情報(平成18年度)

①物件の購入にかかるもの 63,306 千円 ②債務保証又は損失補償にかかるもの 1,481,477 千円 ③利子補給にかかるもの

貸方科目	平成18年度	平成17年度	増 減
【負債の部】			
1.地方債	6,796,410	6,393,906	402,504
2.退職給与引当金等	737,610	700,077	37,533
負債合計	7,534,020	7,093,983	440,037
【正味資産の部】			
1.国庫支出金	1,969,720	1,841,243	128,477
2.県支出金	1,734,755	1,773,521	△ 38,766
3.一般財源等	19,442,683	19,869,594	△ 426,911
正味資産合計	23,147,158	23,484,358	△ 337,200
負債·正味資産合計	30,681,178	30,578,341	102,837

債務負担行為に関する情報(平成17年度)

①物件の購入にかかるもの 681,728 千円 ②債務保証又は損失補償にかかるもの 1,376,367 千円 ③利子補給にかかるもの 357 千円

- バランスシートの比較表(住民1人当たりの資産総額)(平成18年度·平成17年度)

298 千円

平成18年度末住民基本台帳人口(24,578人)

借方科目 平成18年度 平成17年度 減 【資産の部】 1.有形固定資産 1,118,347 △ 1,481 1,116,866 (うち土地) 336,841 336,442 399 2.投資的資産 56,003 55,855 148 投資及び出資金、貸付金 特定目的基金等 退職手当組合積立金 75,449 70,085 5,365 3.流動資産 現金・預金及び未収金 1,248,318 1,244,287 4,032 資産合計

債務負担行為に関する情報(平成18年度)

①物件の購入にかかるもの 2,576 円 ②債務保証又は損失補償にかかるもの 60,277 円 12円 ③利子補給にかかるもの

平成17年度末住民基本台帳人口(24,575人)

(単位:円)

貸方科目	平成18年度	平成17年度	増 減
【負債の部】			
1.地方債	276,524	260,179	16,345
2.退職給与引当金等	30,011	28,488	1,523
負債合計	306,535	288,667	17,868
【正味資産の部】			
1.国庫支出金	80,142	74,923	5,219
2.県支出金	70,582	72,168	△ 1,586
3.一般財源等	791,060	808,529	△ 17,469
正味資産合計	941,784	955,620	△ 13,836
負債·正味資産合計	1,248,319	1,244,287	4,032

債務負担行為に関する情報(平成17年度)

退職給与引当金

①物件の購入にかかるもの 27,741 円 56,007 円 ②債務保証又は損失補償にかかるもの 15円 ③利子補給にかかるもの

職員に要するもの 人にかかるコスト 行政サービスの担い手である

退職給与引当金繰入等 物にかかるコスト 退職給与引当金の増加額です。

今の世代に引き継がれている正 たお金をいいます。つまり、既に いったものを建設するために使っ 今までに道路、保育園、学校と

味の価値を示しています。

ます。

正味資産国庫 (県) 支出金償却額

補助金など国県の支出のうち

財産収入、繰入金、諸収入があり

他に分担金及び負担金、寄附金

使用料·手数料等

てない税金などです。

年度末までに納めていただい

行政コスト計算書の用語説明

町の資産形成に充てた金額の減

価償却総額を計上しています。

想定した場合に必要となる退職 手当の支給総額を計上していま 年度末に全職員が退職したと

助金等を計上しています。

定資産を除いた、他団体等への補

減価償却の対象となる有形固

えるものをいいます。つまり借金 務でその返済が一会計年度を超

資金調達のために負担する債

の年度中に納入されなかった額 繰出金 助金等) 移転支出的なコスト 普通建設事業費(他団体等への補 転して効果が出てくるもの 特別会計へ繰り出した額です。

地方債 です。

未収金

本来納入されるべきものがそ

いません。

地方自治体から他の主体に移

明②

期首|般財源等

前年度末バランスシートの貸

なっているもの 地方公共団体が最終消費者に

有形固定資産の減価償却費は、

期末|般財源等 の額を計上しています。

方欄、正味資産の部の一般財源等 期首|般財源等に|般財源等の

※資金収支計算書は、ホームページ 増加額を加えた額又は減少額を 引いた額を計上しています。

にて掲載させていただきます。

る定額法により計算しています。 数に基づき、残存価格をゼロとす 総務省方式で設定された耐用年 土地については減価償却を行って